



この一般質問の映像はこちらから

農業政策について



平山 輝貴

質問

農地集約化計画の目標は

町 目標80%に向け集積を図る

問 確実に訪れる農業就業者の減少を見据え、農地の集積を具体的に考える時期に来ている。農地集約化計画の目標は。

答 昨年度末集積率39・6%に対し、将来目標を80%に指定している。

問 農地集積の具体的な方法は。

答 耕作者や農業者組織が農地の情報を交換する場が必要。コーディネーター役として農業委員、最適化推進委員、農業公社参入のもと、地域農業の話し合いの場を設ける必要がある。



効率的な農業を目指して

問 集積面積が大きいほど作業効率化、低コスト化が図られる一方、広大な面積の継承は、後継者の負担となる場合もある。次世代を含めた議論・検討は。

答 後継者、新規就農者の地域の話合いへの参加と、情報、営農ノウハウの取得が必要と考える。町の親元就農を含めた、新規就農に係る助成など、情報発信をしていく。

高齢者福祉・介護問題について

質問

介護従事者の人材確保は

町 県事業との連携を図る

問 介護の仕組みは、利用者、その家族、ひいては地域社会の安定につながる。超高齢化社会となり介護需要が高まる中、介護の根幹となる介護従事者の人材確保は。

答 介護人材の参入促進、資質の向上、労働環境・処遇改善などが当町においても課題となる。県の介護人材緊急確保対策事業と連携し、町内事業所の人材確保支援に努める。



問 介護利用者からの身体的、精神的または性的なハラスメントは、介護従事者の大きな精神的負担となる。ハラスメントの現状把握は。

答 安心して働ける労働環境整備は重要であるが、ハラスメントは町への報告義務がなく、状況把握はできていない。ハラスメントの未然防止、対処方法、再発防止策については国の対策マニュアルに基づき、基本的には各事業所での対応をしよう。